

【1】

[解答]

(1) 全事象は ${}_{10}C_3 = 120$ 通り。

3つの数の和が8になる取り出し方は $(1, 2, 5)$, $(1, 3, 4)$ の2通り。

よって求める確率は $\frac{2}{120} = \frac{1}{60}$ … (答)

(2) 全事象は 10^3 通り。

最初の2つが同じになるとき (A, A, B) となるのは $10 \cdot 1 \cdot 9 = 90$ 通り。

(A, B, A) , (B, A, A) のときも同様なので $90 \cdot 3 = 270$ 通り。

よって求める確率は $\frac{270}{10^3} = \frac{27}{100}$ … (答)

【Ⅱ】

〔解答〕

(1) 〔証明〕 $c=1$ のとき

$$\left(1+\frac{1}{a}\right)\left(1+\frac{1}{b}\right)\cdot 2=2 \Leftrightarrow (a+1)(b+1)=ab \Leftrightarrow a+b+1=0$$

$a>0, b>0$ より矛盾。

このとき、等式 (★) を満たす整数 a, b は存在しない。 … (証終)

(2) $c=2$ のとき

$$\left(1+\frac{1}{a}\right)\left(1+\frac{1}{b}\right)\cdot \frac{3}{2}=2 \Leftrightarrow 3(a+1)(b+1)=4ab \Leftrightarrow (a-3)(b-3)=12$$

$a-3 \geq b-3 \geq -2$ であることより

$$(a-3, b-3)=(12, 1), (6, 2), (4, 3)$$

$$\therefore (a, b)=(15, 4), (9, 5), (7, 6) \quad \dots \text{(答)}$$

(3) $c=3$ のとき

$$\left(1+\frac{1}{a}\right)\left(1+\frac{1}{b}\right)\cdot \frac{4}{3}=2 \Leftrightarrow 4(a+1)(b+1)=6ab \Leftrightarrow (a-2)(b-2)=6$$

$a-3 \geq b-3 \geq c-3=0$ であることより $(a-2, b-2)=(6, 1), (3, 2)$

したがって $(a, b)=(8, 3), (5, 4)$

$c \geq 4$ のとき

$$a \geq b \geq c \geq 4 \Leftrightarrow \frac{1}{a} \leq \frac{1}{b} \leq \frac{1}{c} \leq \frac{1}{4} \Leftrightarrow 1+\frac{1}{a} \leq 1+\frac{1}{b} \leq 1+\frac{1}{c} \leq \frac{5}{4}$$

$$\text{このとき } \left(1+\frac{1}{a}\right)\left(1+\frac{1}{b}\right)\left(1+\frac{1}{c}\right) \leq \left(\frac{5}{4}\right)^3 < 2$$

であり、等式 (★) を満たす整数 a, b は存在しない。

(1) (2) の結果もあわせ、等式 (★) を満たす整数 a, b, c は

$$(a, b, c)=(15, 4, 2), (9, 5, 2), (7, 6, 2), (8, 3, 3), (5, 4, 3) \quad \dots \text{(答)}$$

【Ⅲ】

〔解答〕

(1) $-x^2 + 10x - 16 = 0 \Leftrightarrow (x-2)(x-8) = 0$

$\therefore \alpha = 2, \beta = 8 \dots$ (答)

(2) $S = \int_2^8 (-x^2 + 10x - 16) dx = \frac{1}{6}(8-2)^3 = 36 \dots$ (答)

(3) $y = g(x)$ のグラフは、原点を通り $x = 5$ で極値をとるので、

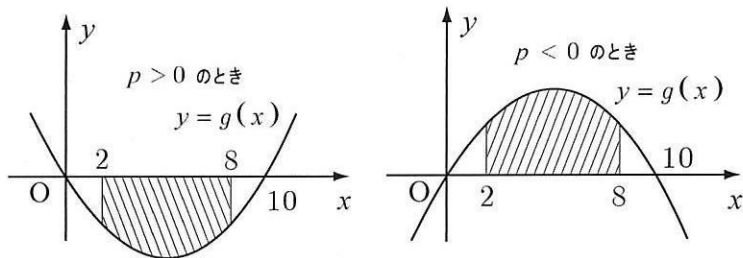
x 軸との共有点は原点と $(10, 0)$ となることがわかる。

したがって、 $p \neq 0$ として $y = px(x-10)$ とおけ、 $q = -10p$ となる。

また、題意の面積は $\left| \int_2^8 px(x-10) dx \right|$ と表せ、

$$\left| p \int_2^8 x(x-10) dx \right| = 36 \Leftrightarrow 132p = \pm 36$$

$\therefore (p, q) = \left(\frac{3}{11}, -\frac{30}{11} \right), \left(-\frac{3}{11}, \frac{30}{11} \right) \dots$ (答)



参考図

【IV】

〔解答〕

(1) 点Pから平面 α に垂線PHを下ろす。

このとき、 $\overrightarrow{PH} \parallel \vec{n}$ より実数 k を用いて $\overrightarrow{PH} = k\vec{n}$ と表せ、

$$\overrightarrow{OH} = \overrightarrow{OP} + k\vec{n} = (-2-3k, 1+k, 7+2k)$$

また、 $\overrightarrow{AH} \perp \vec{n} \Leftrightarrow \overrightarrow{AH} \cdot \vec{n} = 0$ であるから

$$-3(-3-3k)+1(-1+k)+2(3+2k)=0 \Leftrightarrow k=-1$$

したがって、 $\overrightarrow{OR} = \overrightarrow{OP} + 2\overrightarrow{PH} = \overrightarrow{OP} - 2\vec{n} = (-2, 1, 7) - 2(-3, 1, 2)$

$$\therefore R(4, -1, 3) \quad \dots (\text{答})$$

(2) 点Rは、平面 α に関して点Pと対称なので、平面 α 上の任意の点Sに対して $PS=RS$ 。

また、2点P, Qは平面 α に関して同じ側にあるので、2点Q, Rは、平面 α に関して相異なる側にある。

$PS+SQ=RS+SQ \geq RQ$ であることより、3点Q, S, Rが一直線上にあるとき、 $PS+QS$ は最小となる。

このとき、 $\overrightarrow{OS} = \overrightarrow{OR} + t\overrightarrow{RQ}$ とおけば、 $\overrightarrow{OS} = (4-3t, -1+4t, 3+4t)$ と表せる。

また、 $\overrightarrow{AS} \perp \vec{n} \Leftrightarrow \overrightarrow{AS} \cdot \vec{n} = 0$ であるから

$$-3(3-3t)+1(-3+4t)+2(-1+4t)=0 \Leftrightarrow t=\frac{2}{3}$$

したがって、 $S\left(2, \frac{5}{3}, \frac{17}{3}\right) \quad \dots (\text{答})$

またこのとき、 $PS+QS$ の最小値は QR であり、最小値： $\sqrt{41} \quad \dots (\text{答})$

